

# 令和2年度 行政評価推進委員会評価部会における再評価対象事業

長野市行政改革推進審議会	
令和2.7.20	資料2

No.	総合計画上の分野	所属名	事業名称	主な事業概要	見直しの考え方	再評価選定理由	検討項目				
							部局評価(今後の方針)	主な方針理由	見直し期限	R1予算(千円)	R2予算(千円)
11	重点テーマ3	企画課	戦略マネージャー活用事業	長野地域の経済成長をけん引するため、戦略マネージャーを任用し、具体的な取組を行う	成果を適切に検証する必要があるもの	本事業の実効性や効果を検証する必要がある。	現行のまま継続	戦略マネージャーの3か年任期の最終年度であり、長期戦略に基づく事業化へ向けて取り組んでいく予定のため。	2年以内	0	17,600
18	1-1-2		支所発地域力向上支援金	支所長の裁量により、地域力向上に知る資する事業に対し、支援金を交付(支所ごとに一律50万円)	これまでの実績・効果を検証し、制度の在り方を検証する必要があるもの	予算配分の公平性や予算消滅的な意味合いがあるため、制度の在り方を見直す必要がある。 H30年度再評価時にR2年度末までに見直すこととなっている。	見直して継続	様々な小規模のコミュニティ団体の活動の充実、地域活性化に重要であり、併せて地域の繋がりを強固とするため支所長の支援でなく、地区の総意による支援とする見直しを行う。	今年度中	16,000	16,000
19	1-1-2	地域活動支援課	地域いきいき運営交付金	各地区の住民自治協議会に対し、市からの依頼事務や自主的・自立的な活動に関する運営を支援	補助等の基準額を明確化するともに、配分方法等を見直すもの	交付金の使途を明確化し、交付金基準額の積算や配分方法を見直す必要がある。 R1年度の再評価時に3年以内に基準額の算出方法を明確化するよう指示。	見直して継続	括外部監査(H28)から事業目的が広範囲であり検討を求められているが、地域の活性化や課題解決につなげるには、各地域における小さな事業をはじめ幅広く事業への支援が必要であり、地区内に設置した選考委員の総意を受けて決定した事業を実施することで、地域力が上がり今後の地域の発展が見込まれるため。	2年以内	372,975	373,395
43	2-2-1	高齢者活躍支援課	高齢者生きがいづくり講座・グループ活動育成事業	老人福祉センターやふれあい交流ひろばなどで、生きがいづくりや介護予防に関する講座の開催及び、地域における福祉活動の場を提供			現行のまま継続	高齢者に特化してフレイル予防や相互交流、生きがいづくりに焦点を当てた講座を開催していくことも必要。一部講座については、公民館と類似するものもあり、世代間交流の観点からも、統合や連携等、効果的な実施方法を検討したい。		170,268	171,499
66	2-5-2	人権・男女共同参画課	男女共同参画センター運営事業	女性活躍推進等、男女共同参画に係る企画講座等の開催及び固定的役割分担意識等を見直すための啓発			現行のまま継続	固定的役割分担の意識は減少してきているが、未だ男女共同参画社会という言葉の意味を知っている市民の割合は低い。男女共同参画社会の実現に向けて、引き続き企画講座や男女共同参画セミナーを開催し、啓発を継続していく必要がある。		12,247	12,196
119	5-2-1		成人学校事業	市内在住又は在勤の20歳以上の学習意欲のある人を対象に、学芸・文化・教育に関する学習の場を提供(受講料8,000円(1講座1学期))	類似事業の統合を検討するもの 【市の負担を軽減していく・事業を整理していく】	生涯学習機会の提供は、SDGsの観点からも重要であるが、他課が開催する類似講座との連携や整理並びに民間と行政が担うべき範囲の検討が必要	現行のまま継続	講座内容、開講時間の工夫を行うとともに、講座運営の一部は、受講者が行うなど、地域づくりにつながる自主的な参加意欲も見えることから、本事業は継続する必要がある。		19,049	18,190
120	5-2-1	家庭・地域学びの課	公民館管理運営事業	各種学級・講座の開催、グループ・サークルへの活動場所の提供、展示会等の開催			現行のまま継続	地域に根差した生涯学習の機会を提供しており、地域づくり・地域振興等も含め、あらゆる世代に広く利用されていることから、本事業は継続する必要がある。		414,645	420,976
121	5-2-1		生涯学習センター管理運営事業	自主企画講座の開催や各研修会等の学習室の貸出、放送大学長野ランチとしての利用、生涯学習情報の提供			見直して継続	生涯学習の拠点施設として、市の施策を取り入れた講座の企画実施や公民館の講座企画の相談窓口等、中央公民館的な指導的施設として事業を行っていく。		50,902	51,000

# 令和2年度 行政評価推進委員会評価部会における再評価対象事業

長野市行政改革推進審議会	
令和2.7.20	資料2

No.	総合計画上の分野	所属名	事業名称	主な事業概要	見直しの考え方	再評価選定理由	検討項目				
							部局評価(今後の方針)	主な方針理由	見直し期限	R1予算(千円)	R2予算(千円)
105	5-1-1	学校教育課	地域発 活力ある学校づくり推進事業	連携推進ディレクターによる学校と地域の連携促進	今後の児童・生徒数の減少を踏まえ、所要の見直しを行うもの	事業の進捗及び連携推進ディレクターの在り方について明確にする必要がある。 R1の再評価で推進ディレクターの成果を再検証するよう指示。	見直して継続	活力ある学校づくり検討委員会からの答申を受け、それぞれの地域にあった豊かな教育環境の構築を目指すとともに、これまでの連携事業(学校連携、地域連携等)の定着状況を鑑みながら、段階的に連携推進ディレクターの配置を縮小していく。	2年以内	21,229	20,280
110	5-1-1		小学校市費教員管理 中学校市費教員管理	市費教員配置による教育環境の充実		集団の学びの観点から、2クラス合わせて8人以下となるクラスがある学校は、令和3年度からの複式化を実施する必要がある。 R1の再評価で市費教員の在り方を検討するよう指示。	見直して継続	長野市活力ある学校づくり検討委員会答申を尊重し、令和3年度から長野県が定める学級編制基準による複式学級編制とする。令和3年度以降は、各校における複式学級編制による授業の完成度等を注視するとともに、新たな配置基準を基本とする市費教員配置を行う。	今年度中	87,961	108,752
109	5-1-1		情報教育推進事業	情報教育の充実及び基礎学力の確実な定着のために、授業でICTを活用する等、教育の情報化を推進		今後の事業の展開を見据え、効果的な仕組みを検討する必要があるもの	教育のICT化は、教師の働き方改革や新型コロナウイルスの感染拡大防止に寄与するものだが、SDGsの説明責任の評点が低く、より効果的にするための見直しが必要	拡大	GIGAスクール構想の実現を図るため、教育センターでの研修やメディアコーディネータの派遣を通じ、教員のICT機器を活用した指導力向上を目指す。	今年度中	201,702
151	6-1-1	観光振興課	観光まつり補助金	観光まつりの開催に要する経費に対し補助金を交付	市の関与の在り方を見直すもの 【市の負担を軽減していく・事業を整理していく】	人口減少に伴い、今後更なる地域の衰退が懸念される中、地域活性化の意味合いが高い中山間地域における観光まつりに対する補助については、抜本的な見直しが必要。 行政改革大綱の実施計画で、令和4年度までに新基準を策定することになっている。	見直して継続	規模や集客力など、祭りごとに大きな差があり、今後の補助のあり方が課題であるため、補助金の趣旨に合うよう改善を促す必要がある祭りについては、事業運営等に対して指導する。また、補助金を交付する新基準の策定を進める。	3年以内	47,412	47,990
175	6-2-2	いのしか対策課	ジビエ処理加工施設運営事業	ジビエ処理加工施設で、有害捕獲されたイノシシやニホンジカをジビエとして製品化し、販売する	収支改善を前提に抜本的な見直しが必要なもの	捕獲補助金の見直しやジビエ商品の売上増につながる抜本的かつ具体的な見直しを行う必要がある。	見直して継続	本格稼働から数か月経過し、計画段階では想定していなかった問題点、改善点が発生している。これらの事象を洗い出し整理して優先順を明確にして解決策を模索していく。	今年度中	28,591	33,910
176	6-2-2		ジビエ振興事業	供給するジビエのブランド力を確立し、ジビエの販売促進を図る			CSFの影響で加工センターへのイノシシ受入は休止となっているが、ジビエのブランド力を確立し、ニホンジカ肉により市場でのジビエ定着及び販売促進を図る。	現行のまま継続	今年度中	34,689	5,811